

通し番号	1
------	---

【令和4年度事業】

目標	I	働くための環境整備とワーク・ライフ・バランスの推進
施策	1	ワーク・ライフ・バランスへの理解促進
取組の方向	1	ワーク・ライフ・バランスの正しい理解促進に向けた啓発、情報提供
事業	1	ワーク・ライフ・バランスに関する啓発
	2	両立支援制度や育児休業・育児時間及び介護・看護休業制度の周知と取得に向けた啓発
担当課		生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
1		さまざまな講座を実施している点は評価できる。出産を控えた夫婦を対象とした講座などは、産婦人科と連携して行ったらどうか。	評価 B
生活文化課	1 2	啓発や情報収集、その周知が主になるかと思うが、映画上映や土日開催など、今後も市民が参加しやすい配慮をしながら行ってほしい。	取組状況 B
		講座の参加者に行っているアンケート結果で、『『よかった』の割合が〇%だった』といった記載があると評価しやすい。漠然としたものだけでなく、客観的なデータがほしい。	課題把握 B
		「数値の指標」にある『『ワーク・ライフ・バランス』という言葉が『内容もよく知っている』』と回答した人の割合が20%強というのは少ないのではないか。	次年度目標 A

通し番号	2,3
------	-----

【令和4年度事業】

目標	I	働くための環境整備とワーク・ライフ・バランスの推進	
施策	2	市内事業所の働き方改革とワーク・ライフ・バランスへの取組推進	
取組の方向	1	市内事業所に向けた講座開催や好事例、助成制度などに関する情報提供	
事業	3	関係法令、各種制度の周知と啓発	
	4	労働環境の改善に向けた市内事業所への情報提供と啓発及び課題解決	
	5	市内事業所における実践的取り組みの好事例の周知	
	6	ワーク・ライフ・バランスの推進活動への支援に関する情報提供	
担当課		産業政策課	生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言

「取組の方向」にあるように事業者に対する情報提供であるため、商工会との連携強化に努めてほしい。産業政策課だけでなく、商工会とも連携してほしい。

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
2	産業政策課 3 4 6	<p>コロナ禍において、情報提供の確保に努めたことは評価できるが、情報提供にとどまらず、雇い主に対する直接的な働き掛けも大事な方策ではないか。</p> <p>「取組内容」に記載されていることだけでは、資料配布をただけなのか、口頭説明もしたのかがよくわからない。ただ資料を配布しただけなのと、口頭説明を行ったのでは、評価が全く異なるため、その辺りのことも明確に記載してほしい。</p>	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
B			
次年度目標			
B			
3	生活文化課 3 4 5 6	<p>生活文化課は守備範囲が広く、啓発活動が中心になると思うが、外部機関に向けた新たな取組というのをも積極的に取り入れてほしい。商工会との連携も行う必要があるのではないか。</p> <p>担当課の評価は「C」となっているが、本来は産業政策課が動いてくれないと仕方がない分野ではあると思う。</p>	評価
			B
			取組状況
			C
			課題把握
B			
次年度目標			
B			

通し番号	4
------	---

【令和4年度事業】

目標	I	働くための環境整備とワーク・ライフ・バランスの推進
施策	2	市内事業所の働き方改革とワーク・ライフ・バランスへの取組推進
取組の方向	2	公共調達時におけるインセンティブ付与の検討
事業	7	公共事業調達時のインセンティブ付与に向けての検討
担当課		生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
生活文化課	4	<p>近隣市でも取り入れられている制度であるため、他市の好事例を情報収集し、その取組を参考にしながら当市でも進めていってほしい。次年度以降に期待したい。</p> <p>公共調達時に企業のワーク・ライフ・バランスの取組を点数化することは、難しい点もあるかと思われる。客観的な基準を持って慎重に取り組んでほしい。</p> <p>生活文化課のみが担当課となっているが、そもそも生活文化課が公共調達について言及すること自体に無理があるのではないか。</p>	評価
			C
			取組状況
			B
			課題把握
		C	
		次年度目標	
		C	

通し番号	5,6
------	-----

【令和4年度事業】

目標	I	働くための環境整備とワーク・ライフ・バランスの推進
施策	3	男性やシニアの家庭生活や地域活動への参画促進
取組の方向	1	固定的な性別役割分担意識解消への啓発
事業	8	男女が共に自立した生活を送るための情報提供及び学習機会の提供
担当課	生活文化課	生涯学習課

「取組の方向」全体についての講評・提言

教育委員会主導で、公立中学校・高校向けにジェンダーバイアス解消の授業を積極的に展開して欲しい。

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
5	8	<p>「事業内容」については、例えば自由学園との共催事業について、参加者の反応がどうであったかなどを具体的に記載するなど、事業の見える化をしてほしい。また、自由学園と共催することも悪いわけではないが、共催相手としては、まずは公立の中学校ではないか。</p> <p>「今後の課題」のところ、「この傾向をいかに保っていくかが課題である」と記載されているが、これは少し消極的ではないか。「いかに推進していくのか」といったような、もう少し積極的な姿勢を見せてほしい。</p> <p>男性をターゲットとした事業のため、どのように男性に届けるのが効果的かという周知方法なども考えていかなければいけないのではないかと。また、男性の参加者を増やしていくことが課題なのではないか。</p>	評価
			B
生活文化課	8		取組状況
			A
生涯学習課	8		課題把握
			B
6	8	<p>親子参加型の講座を実施していることには好感が持てる。</p> <p>男性の参加促進が課題としてあるが、最近の若い男性は子育てにも熱心だと聞くので、父親向けの講座についても検討してほしい。</p> <p>固定的性別的役割分担意識やアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)などについて、講座で学んでいくのだと思うが、家事・育児シェアの「見える化シート」のように、このような課題を顕在化していくことが解決の糸口になるのではないかと。</p>	評価
			B
生涯学習課	8		取組状況
			B
			課題把握
			B
			次年度目標
			B

通し番号	7-10
------	------

【令和4年度事業】

目標	I	働くための環境整備とワーク・ライフ・バランスの推進		
施策	3	男性やシニアの家庭生活や地域活動への参画促進		
取組の方向	2	男性やシニアが参加しやすい環境作り		
事業	9	シニアの経験と知識を活かす活動の推進		
	10	男性の家事・育児・介護等への参加促進		
担当課		生活文化課	介護福祉課	子育て支援課
		生涯学習課		

「取組の方向」全体についての講評・提言

「取組の方向」に関連する課の取組内容がバラバラの印象がある。年に1回程度でも良いので担当者会議を行い、それぞれの取組の報告や男女共同参画の視点の入れ方、男女別統計の取り方などについて話し合っても良いのではないか。

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
生活文化課	7	<p>事業を開催する際に子育て世代向けに保育付きの講座を実施したことや、広報の手段として母子手帳配付の際にチラシを同封したといった取組は評価したい。</p> <p>男性やシニアをターゲットとした事業であるため、効果的な周知方法を検討する必要があるのではないか。引き続き、様々な工夫をしながら事業を展開してほしい。</p> <p>子育て世代に向けて多彩な取組を行っていることは評価したい。「数値の指標」の所では、講座数や参加者数だけでなく、男女別統計など具体的な数値も示してほしい。</p>	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
		A	
		次年度目標	
		A	
介護福祉課	8	<p>シニアを対象とした事業であるが、生活支援体制整備事業を活用して高齢者をサポートすることが重要だと思われる。介護予防事業についてさまざまな事業を展開しており、力を入れていることが分かる。引き続き取組を進めてほしい。</p> <p>日本は女性の方が健康寿命が短く、男性の方が健康寿命が長い、高齢者は圧倒的に女性の方が多という現状がある。介護予防のための活発な活動やサポートをいろいろと行っていることは分かるが、どのような取組なのかがいまいちわからない。例えば、「男性に特化した自主グループ」が何をしているのかなど、その辺りのことも説明してほしい。</p> <p>「数値の指標」のところで、男女別の統計を入れてほしい。</p>	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
		A	
		次年度目標	
		B	

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
子育て支援課	9	<p>行事の開催日時を設定を夜間や土日に開催することは、公立保育園では以前より行っていることであり、当たり前のことにも思える。私立保育園でも同様の配慮ができれば良いが、そうでなければ市から要請などしても良いのではないかと。</p> <p>男性の育児参加のためのさまざまな工夫が行われていて良いと思うが、保育園の負担が増えているのではないかと気になった。</p>	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
			B
生涯学習課	10	<p>「数値の指標」で、男女別に統計を出しているところを評価したい。</p> <p>さまざまな取組をしているが、男女共同参画の視点から事業を実施しているのかがよく分からないため、評価しづらい。</p> <p>シニア向けの取組がもう少しあってもよいのではないかと。</p>	評価
			B
			取組状況
			A
			課題把握
			B
	次年度目標		
	B		

通し番号	11-14
------	-------

【令和4年度事業】

目標	I	働くための環境整備とワーク・ライフ・バランスの推進		
施策	4	両立支援のための子育て・介護の環境整備		
取組の方向	1	多様なニーズに対応する保育、教育、子育て環境の整備		
事業	11	子育て相談事業のネットワーク化の推進		
	12	保育・教育基盤の確保		
	13	多様な保育・教育の提供		
	14	学童保育及び児童館の充実		
担当課		子育て支援課	児童青少年課	健康課
		障害福祉課		

「取組の方向」全体についての講評・提言

「取組の方向」に対し、それぞれの課が必要な取組を行っている。そのような中、障害福祉課が保育園や幼稚園等に行っている巡回相談事業や保育所等訪問支援事業は連携の好事例として評価できる。また、わかくさ学園に在籍している児童の将来については、十分考えて取り組んでほしい。

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
子育て支援課	11	<p>待機児童が0名というのは素晴らしいとは思いますが、全員が希望した保育園に入れたということか。それとも、数字上の0名ということなのか。保護者が希望した園に子どもを通わせられるということが大切なので、その辺りのことも詳しく書いてほしい。</p> <p>多様な子育てニーズに対応するために、オンラインの導入の可能性についても検討してはどうか。</p> <p>「次年度の方針性・目標」のところに「ニーズ調査による量の見込み」とあるが、量だけでなく質の確保についても確保してほしい。表現について検討し直した方が良いのではないか。</p>	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
		B	
		次年度目標	
		A	
児童青少年課	12	<p>子育て相談事業に関しては、ぜひ子どもたちの声にも耳を傾け、充実させていってほしい。</p>	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
		A	
		次年度目標	
		A	

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
13		<p>父親の育児参加については、さまざまな課で取り組んではいるものの、いつまでも同じような課題が生じていることは非常に残念に思う。課題を一つ一つ乗り越えて、諦めずに取り組んでほしい。</p> <p>妊婦全数面接を実施していることは評価するが、気になる方、埋もれてしまっている方、自分から発信できない方たちについても目を向けるという視点を持ち続けてほしい。よりきめ細やかな対応について検討してほしい。</p> <p>妊婦全数面接におけるオンラインでの面接は、引き続き続けてほしい。</p>	評価
	健康課		B
	11		取組状況
			B
			課題把握
			B
		次年度目標	
		B	
14		<p>こどもたちは、わかき学園に通っている間は手厚いケアをしてもらっていると思うが、卒園した後のことも、引き続き気にかけてあげてほしい。</p> <p>オンライン化の導入の可能性について検討してはどうか。人員配置や整備の視点で業務の効率化につながらないか。</p>	評価
			A
	障害福祉課		取組状況
	13		A
			課題把握
			A
		次年度目標	
		A	

通し番号	15
------	----

【令和4年度事業】

目標	I	働くための環境整備とワーク・ライフ・バランスの推進
施策	4	両立支援のための子育て・介護の環境整備
取組の方向	2	介護支援の充実
事業	15	地域包括支援センターの充実
	16	要介護者の家族への支援
	17	介護保険制度の普及と啓発
	18	在宅サービスの充実
担当課		介護福祉課

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
介護福祉課	15	<p>介護支援は非常に深刻な課題である。特に在宅介護は、女性が行っていることが多く、負担も大きい。乳酸飲料配付事業などによる、さまざまな高齢者の見守り・声掛け関連事業については、広報活動を積極的に行ってほしい。</p> <p>「今後の課題」にもあるように、高齢者の見守りについては、手遅れにならないよう問題の早期発見に努め、成年後見制度等につなげる必要がある。その際には、成年後見制度における市長申立制度も活用するとよいのではないかな。</p> <p>「数値の指標」に、令和4年度に行った「高齢者アンケート」の結果を活用できると良かったのではないかな。</p> <p>高齢者の人口比は女性が圧倒的に多い。ジェンダー統計として具体的に把握してほしい。</p>	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
	A		
	次年度目標		
	B		

通し番号	16,17
------	-------

【令和4年度事業】

目標	Ⅱ	職業生活における女性の活躍推進
施策	1	市内事業所及び市役所における女性活躍推進への取り組み促進
取組の方向	1	女性活躍推進にかかる意識啓発や情報提供
事業	19	女性活躍推進に向けた情報提供
担当課	産業政策課	生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言

産業政策課と生活文化課、および商工会との連携強化に努めてほしい。

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
16		コロナ禍でも情報提供の場を確保できたことは良かった。商工会との連携が必要ではないか。	評価 B
産業政策課	19	取組内容として、チラシやリーフレットを窓口で配付しただけでは弱いのではないかと。雇用主に対し、もっと直接的な働き掛けをしてほしい。 「数値の指標」の中で「情報提供企業」の目標値が15とあるが、15とした根拠が知りたい。市内の事業所数を考えた時、15の企業に情報提供しただけで本当に良いのか。	取組状況 B
			課題把握 B
			次年度目標 B
17		産後パパ育休等はキーポイントになるものであるため、事業所への対応も必要ではないか。雇用主の意識変革が重要であり、事業所に対しても具体的な働きかけにより意識啓発を行ってほしい。	評価 B
生活文化課	19	東京しごと財団の担当者との打ち合わせを行ったことは評価するが、そこに産業政策課も入るとより効果的な事業が行われるのではないかと。 商工会との連携が必要ではないか。	取組状況 B
			課題把握 B
			次年度目標 B

通し番号	18,19
------	-------

【令和4年度事業】

目標	Ⅱ 職業生活における女性の活躍推進	
施策	1 市内事業所及び市役所における女性活躍推進への取り組み促進	
取組の方向	2 取組事業所への支援	
事業	再3 関係法令、各種制度の周知と啓発(再掲)	
	再7 公共事業調達時のインセンティブ付与に向けての検討(再掲)	
	再5 市内事業所における実践的取り組みの好事例の周知(再掲)	
担当課	産業政策課	生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言

商工会議所とも十分連携してほしい。
また、公共事業調達時のインセンティブ付与に向けての検討については、生活文化課から他市の状況を契約担当に情報提供するなど十分連携を図りながら行ってほしい。

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
産業政策課	再3	<p>「今後の課題」や「次年度の方向性・目標」にも情報提供としか記載されていないため、それでは弱いように思われる。チラシやリーフレット、資料の配付にとどまらず、講座の開催など女性活躍推進に関する意識改革を図るための具体的な方策も検討してほしい。</p> <p>商工会との連携が必要ではないか。</p>	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
B			
次年度目標			
B			
生活文化課	再3 再7 再5	<p>資料等の配付にとどまらず、学童や保育士に向けて出前講座を行うなど、外に出て行き啓発活動をしている姿勢は評価できる。</p> <p>担当課の評価を見ると、出前講座は行えたが不十分な点があったことを自覚しており、そのことを課題と捉えているようなので、今後の進展に期待したい。</p> <p>商工会との連携が必要ではないか。</p>	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
B			
次年度目標			
B			

通し番号	20,21
------	-------

【令和4年度事業】

目標	Ⅱ 職業生活における女性の活躍推進		
施策	1 市内事業所及び市役所における女性活躍推進への取り組み促進		
取組の方向	3 市役所における女性管理・監督職への登用促進		
事業	20 職員研修の充実		
	21 特定事業主行動計画の推進とポジティブ・アクションの推進		
	22 女性職員の能力活用に関する管理職研修の実施		
	23 ハラスメント対策の推進		
担当課	職員課		生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言

「女性活躍推進研修」において、理事者向けにプレゼンテーションを実施したことは画期的な取組である。この取組を今後も継続して実施して欲しい。

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
職員課	20	<p>さまざまな研修に取り組んでいることを評価したい。今後も精力的に取り組んで欲しい。</p> <p>市の業務の中にはテレワークが難しいものもあると思うため、具体的にどのように取り組んでいるのかを知りたい。どのくらいの人数の職員がテレワークを行い、職員がどのように評価しているのか、テレワークを取り入れたことで実際に職場環境が良くなったのかなど、テレワークを導入したことによる効果についても知りたい。職場環境は女性だけの問題ではなく、男性にとっても働きやすい職場にしていく必要があるのではないか。</p> <p>女性職員の中にも優秀な方はいると思う。「ときめき」69号の特集を見ても近隣市と比較して女性管理職が少ないという状況があり、当市には女性が活躍しにくい環境が何かあるのではないかと感じてしまう。女性職員の率直な意見を知りたいため、女性職員向けのアンケートを実施してはどうか。また、「数値の指標」については、女性係長の割合やテレワークの実施状況などを指標にしてはどうか。</p> <p>女性管理職が非常に少ない背景には、職員一人あたりの業務量が多く、厳しい状況があるのではないかと。職員の負担を軽減するためには事業を効率化していく必要があるが、本当に図られているのか疑問である。女性管理職を増やしていくためにはメンター制の導入や先輩職員に相談しやすい取組の検討などを十分に行うべきでないか。</p>	評価
			B
			取組状況
			A
			課題把握
	B		
	次年度目標		
	B		
生活文化課	21	<p>女性活躍研修の中で、現場の声を理事者に直接伝えることができたということだが、これは風通しの良い職場ということで非常に良いと取り組みだ思う。理事者と現場の距離があると、本質的な問題が見えてこないことがある。理事者からも「継続して実施してほしい」という言葉があったということなので、ぜひ続けて欲しい。</p>	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
	A		
	次年度目標		
	A		

通し番号	22
------	----

【令和4年度事業】

目標	Ⅱ	職業生活における女性の活躍推進
施策	2	女性の就労継続とキャリア形成への支援
取組の方向	1	就労継続とキャリア形成に向けた意識啓発
事業	24 女性の就労継続とキャリア形成への支援	
担当課	生活文化課	

「取組の方向」全体についての講評・提言		

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
22		困難を抱える女性に必要な情報と届ける手段として、つながるカフェの取組は良いと思う。「次年度の方向性・目標」に「就労継続に困難を抱える女性に対しても、つながるカフェ等の事業で配慮していきたい」としている点を評価したい。	評価 A
生活文化課	24	必要な情報が必要な人に届くよう、さまざまな取組を引き続き実施してほしい。ただ、行政だけでできることばかりではないため、NPOとも連携して行えると、なお良いのではないか。 コロナ禍で、パート、アルバイトなどの非正規雇用の方、特に女性の困窮が非常に問題になった。そのような中、「新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金」を知らなかったという人が多かったことは、見過ごせない事実である。「今後の課題」にもあるように、事業主は知っているが、従業員に情報が届いていないということがないよう、伝える側である事業主の意識啓発・意識改革についての方策が必要ではないか。	取組状況 A
			課題把握 A
			次年度目標 A

通し番号	23,24
------	-------

【令和4年度事業】

目標	Ⅱ	職業生活における女性の活躍推進
施策	3	女性の再就労への支援
取組の方向	1	再就職に関する講座、啓発、情報提供
事業	25	女性の再就職への支援
担当課	産業政策課	生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言

再就職セミナーは非常に有意義であるため、引き続き取組を進めてほしい。

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
23	産業政策課 25	女性の再就職についての取組は非常に重要である。女性の就労については、専門的な立場からの助言も必要になってくることから、「次年度の方向性・目標」にもあるように、再就職に特化したセミナー等を継続的に行うことが実効性のある取組に繋がるのではないかと。 高い参加率から、取組の有効性が伺える。引き続き有効性のある取組を実施してほしい。 「数値の指標」のところで、「就業面接会・セミナー実施回数」「参加者」とともに目標値を上回っていることを評価する。	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
		A	
		次年度目標	
		A	
24	生活文化課 25	「再就職セミナー」では、企画の段階から参加することでよりよい取組になっているのではないかと。 ひきこもり等の方の中には、社会からの疎外感といったものを持っている人もいると思う。ひきこもり女子がそのまま高齢になると、高齢者の貧困問題に繋がっていくため、「つながるカフェ」は非常に重要な取組であると考え。効果がすぐにでるような即効性のある取組ではないと思うが、このようなことを地道に続けていくことが大切であり、その点を評価する。気長に取り組んでほしい。	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
		B	
		次年度目標	
		A	

通し番号	25-27
------	-------

【令和4年度事業】

目標	Ⅱ	職業生活における女性の活躍推進	
施策	4	女性の起業と事業継続への支援	
取組の方向	1	起業と事業継続に関する講座、情報提供、関係機関との連携による支援とネットワークづくりへの支援	
事業	26 女性の起業に関する情報提供及び支援		
担当課	産業政策課	生活文化課	図書館

「取組の方向」全体についての講評・提言

関連する課が3課あるが、産業政策課が主導で事業を実施し、生活文化課と図書館はそれに対して支援をしていくという立場になるのではないかと。3課がよく連携し、事業を実施して欲しい。
女性の起業については、リスクについての情報提供も行い、そのことを十分理解した上で起業できるよう、支援に努められたい。また、講座を実施する際には、実際に問題が起こった場合の対応も内容に含めてほしい。

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
産業政策課	25	<p>起業に向けた支援を積極的に展開している。起業と一口に言ってもさまざまであるため、個別面談のようなきめ細やかな対応も行っていることは評価できる。</p> <p>起業はどうしてもリスクが伴うものであるため、その辺りのことも面談の中でしっかりと情報提供して欲しい。</p> <p>さまざまな機関と連携してセミナーを開催しているが、より効果的な取組となるよう、実施機関とよく調整しながら行って欲しい。</p> <p>創業支援等事業計画について、国から認定受けていることを評価したい。</p>	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
		B	
	次年度目標	B	
生活文化課	26	<p>生活文化課としては、主体的に事業を行うというよりも、事業の企画や他部署・他機関との連携・調整等が主になるのかと思う。そういった意味では、他機関との調整を進めたり、起業を考えている女性、関心のある女性に向けて情報提供ができたことは評価したい。今後については、引き続き産業政策課や外部の専門機関との連携に期待したい。</p> <p>「次年度の方針・目標」にも記載されているように、新たな専門機関と連携しながら、女性起業家や企業を目指す女性に対して、「専門家への相談や人脈づくりなど、総合的な支援に繋いでいく」というところに期待したい。</p>	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
		B	
	次年度目標	A	

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
27		女性の起業に関する情報提供・支援について、具体的にどのようなことを行っているのかが「取組状況」から見えてこない。	評価
			B
図書館	26	<p>「次年度の方向性・目標」にあるように、起業に関する資料について、男女平等推進センターからの情報・助言を受けながら効果的な選書をし、女性起業家、起業を目指す女性が有効に活用できるよう取り組んでほしい。</p> <p>図書館が指定管理者になったため、男女平等推進センターが指導力を出して取り組まないとなかなか前に進まないのではないか。</p>	取組状況
			B
			課題把握
			B
			次年度目標
			B

通し番号	28
------	----

【令和4年度事業】

目 標	Ⅲ	あらゆる分野における男女共同参画の推進
施 策	1	市附属機関や地域活動団体における男女の参画推進と女性の活躍推進
取組の方向	1	ポジティブ・アクションへの理解促進
事業	27	審議会委員等委員の男女比率の均等化
担当課	生活文化課	

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
28		生活文化課が担当課になっているが、各課において審議会委員を決めるため、生活文化課だけでなく、責任のある全課が責任を負うべきと考える。	評価 C
生活文化課	27	審議会に特化して取り組むだけで良いのか。女性管理職が圧倒的に少ないという現状も含め、もっと総合的に取り組むべき課題と考える。	取組状況 C
		具体的な取り組みについて、他の自治体の取り組みを参考に検討してほしい。	課題把握 B
		「第5次男女共同参画基本計画」においても明確な数値目標が示されているため、次年度から防災会議については、個別に数値を出してほしい。	次年度目標 C

通し番号	29
------	----

【令和4年度事業】

目標	Ⅲ	あらゆる分野における男女共同参画の推進
施策	1	市附属機関や地域活動団体における男女の参画推進と女性の活躍推進
取組の方向	2	男女が参加しやすい環境整備
事業	28	自治会における男女共同参画に関する啓発及び情報提供
担当課		生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
29	生活文化課	<p>女性の自治会長として2年間務めたが、自治会を継続させること自体が本当に難しいと感じた。自治会の会員向けにアンケート調査を行ったところ、特に一人暮らしの高齢者などからは自治会を存続させてほしい、何かあった時に助けてほしい、情報を得るツールが限られている中で回覧板が重要な情報源になっている、という声が多かった。自治会に参加しやすい環境づくりが大切だと思うが、今のやり方では難しいと思う。今は自治会長を降りてしまったが、「またやってほしい」という声もある。当市の女性自治会長の割合は24.4%で比較的高いこともあり、女性の自治会長が求められているように思う。</p> <p>自治会においては、女性がかなり活躍はしているものの、中心は男性になってしまうことが多い。女性リーダーが活躍できるよう、自治会のあり方そのものを根本的に考え直す必要があるのではないか。</p> <p>「ときめき」を全自治会に配付し、回覧板で高齢者にも見てもらえるようにできると良いのではないか。</p>	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
			B
			次年度目標
			B

通し番号	30
------	----

【令和4年度事業】

目標	Ⅲ	あらゆる分野における男女共同参画の推進
施策	2	地域におけるリーダーとなる女性の育成
取組の方向	1	リーダー育成のための講座開催や機会の提供
事業	29 地域におけるリーダーとなる女性の育成	
担当課	生活文化課	

「取組の方向」全体についての講評・提言		

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
生活文化課	29	<p>男女が協力してさまざまな活動に関わる中で、リーダーとして活躍する女性を増やしていく必要があるのではないか。「取組状況」を見ると、出前講座や国際女性デー関連事業など精力的に取り組んでいることが伺える。さまざまな取組を行っていることは評価できるため、引き続き取組を進めてほしい。</p> <p>「今後の課題」にもあるとおり、まだまだリーダーとして活躍している女性は少ない。「次年度の方向性・目標」にも記載されているように、ぜひ「ときめき」を活用した女性リーダーの育成にも取り組んでほしい。</p> <p>自身も地域で活躍する女性リーダーの一人なのだと思うが、その立場から考えてみても、女性リーダーの育成において必要なことは何かということは非常に難しい課題だと思う。</p> <p>全自治会への「ときめき」の配付を検討してほしい。</p>	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
A			
次年度目標			
B			

通し番号	31-34
------	-------

【令和4年度事業】

目標	IV	安心・安全な暮らしの実現		
施策	1	生涯にわたる男女の健康の支援		
取組の方向	1	ライフステージに合わせた健康支援		
事業	30	各種健康診査及び健康相談事業の充実		
	31	発達段階に応じた適切な性教育の推進		
	32	HIV／エイズや性感染症の予防、喫煙、薬物乱用の防止に関する教育の充実		
	33	生涯を通じた健康の保持増進等のための啓発及び情報提供		
	34	こころの健康支援		
	35	シニアが自立した生活を送るための支援		
	36	予防重視のシニア施策の充実		
担当課		健康課	生活文化課	介護福祉課
		指導室		

「取組の方向」全体についての講評・提言

社会でひとり親世帯や高齢者独居世帯、同性カップルなど多様な世帯が増えている中、支援のあり方をブラッシュアップしていくことがこれまで以上に求められている。
 個へのきめ細かい対応が求められる中、時間や労力がかかるが、よく取り組んでいる。
 新しい社会課題に対しては、外部の講師の活用も検討してよいのではないか。
 良い取組を行っているので、多くの人に届くように広報にもっと力を入れてほしい。

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
健康課	31	各種検診の実施や受診率の向上への取組がしっかりなされている。 病気予防などの健康であり続けるための施策について、もっと重視してほしい。 広報について、周知をどのように図っていくかについて記載してほしい。	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
			B
生活文化課	32	全体として、さまざまな取り組みが進められていることが分かり評価できる。 社会の状況に合わせた取組ができており評価したい。この取組を他の中学校へ広げていくための具体的な方法が記載されていると更に良かった。	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
			A
	次年度目標		
	B		

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
33		自主グループの立ち上げ等の取組は評価したい。欲を言えば、この取組をさらに進めていくための具体策についても記載してほしい。	評価
			A
介護福祉課	35 36	数値目標が設定されていないので、例えば健康寿命などの目標を設定することはできないか。	取組状況
			A
			課題把握
			A
			次年度目標
			A
34		学習指導要領に則り適切に実施されていることが分かった。	評価
			A
指導室	31 32	性的マイノリティやLGBTなどについて、教員への研修についてどのように取り組んでいくか記載してほしい。また、今後の課題として、「更なる授業改善」とあるが、社会状況が変わるスピードも早くなっているため、ブラッシュアップしてほしい。	取組状況
			A
			課題把握
			B
			次年度目標
			A

通し番号	35
------	----

【令和4年度事業】

目標	IV	安心・安全な暮らしの実現
施策	1	生涯にわたる男女の健康の支援
取組の方向	2	妊娠、出産期における女性への健康支援
事業	37	妊娠中及び出産後の健康管理の啓発及び相談事業の充実
	38	出産・育児に関する情報提供と男性の理解の促進
担当課	健康課	

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
35		リモートを活用するなど、妊産婦から産後ケアまで切れ目のない支援に取り組んでいる。また、その取組により、利用率についても一定水準を確保していると評価できる。アプリへの移行によって、利用率が向上することを期待したい。	評価 A
健康課	37 38	「次年度の方向性・目標」について、アプリ登録者への働きかけを具体的にどうするのか記載があると良かった。	取組状況 A
			課題把握 A
			次年度目標 A

通し番号	36,37
------	-------

【令和4年度事業】

目標	IV	安心・安全な暮らしの実現
施策	2	配偶者等からの暴力防止と被害者の自立に向けた支援
取組の方向	1	暴力の未然防止や早期発見のための取組強化
事業	39	暴力未然防止のための意識啓発
	40	若年層に向けた暴力防止の啓発
	41	早期発見のための理解促進
担当課	生活文化課	指導室

「取組の方向」全体についての講評・提言

教員に対する人権やハラスメントの研修についても重要である。内容をブラッシュアップさせながら、引き続き取組を進めてもらいたい。

いじめに関して、未然防止と同様に早期発見も重要なのでしっかりとした取組を期待したい。

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
36	生活文化課 39 40 41	東京ウィメンズプラザから講師を招いたり、公立保育園に出前講座を行うなど着実に取り組んでおり高く評価したい。コロナ禍以降、女性へのDVが増加傾向にある中で引き続き取組を進めてほしい。 講座開催数もコロナ前を上回っており、講座の中身も工夫が感じられ評価できる。	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
A			
次年度目標			
A			
37	指導室 40	課題を把握し、取組もしっかり行われている。今後の課題として、SCやSSWについて「保護者や家庭の課題については、他課との情報交換をさらに密にしていこうが必要」としているが、是非進めていただきたい。 人権に関わる標語など古典的な取組ではあるが、地道に行っているところは評価したい。 全国で広がりつつある「校内カフェ(フリースペース)」の取組等も参考にして、相談しやすい環境づくりについても考えてもらいたい。	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
A			
次年度目標			
A			

通し番号	38,39
------	-------

【令和4年度事業】

目標	IV	安心・安全な暮らしの実現
施策	2	配偶者等からの暴力防止と被害者の自立に向けた支援
取組の方向	2	安心して相談できる体制づくり
事業	42	相談窓口の周知
	43	複合的に困難を抱える人への支援
	44	相談体制の整備
担当課	関係各課	生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言

現状をよく把握できており、きめ細やかに取り組まれている。さまざまな問題を抱える人たちについて、全体的に低年齢化が進んでおり、情報が若年層に届くように気を配ってほしい。今後さらにDXの活用も進めていくことができれば、さらに良いのではないか。

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価	
担当課	事業番号		項目評価	
38	関係各課 42 43 44	相談件数も増えており、課題や目標もしっかりと把握されている。	評価 A	
		配偶者暴力対策庁内連絡会の開催やさまざまな工夫により、各課で連携が取れている。	取組状況 A	
		ニュースレター等の取組も評価したい。	課題把握 A	
			次年度目標 A	
39	生活文化課 42	さまざまなチャンネルを活用して情報発信し、関係機関へのアプローチにも工夫が見られる。	評価 A	
		きめ細やかに取組を進めており、評価できる。若い方に響くようなデザインのポスターを作成するなど、情報が若年層に届くように気を配ってほしい。	取組状況 A	
		気づきやすい立場の人への取組は重要であり、今後も取組を進めて欲しい。	課題把握 A	
			次年度目標 A	

通し番号	40
------	----

【令和4年度事業】

目 標	IV	安心・安全な暮らしの実現
施 策	2	配偶者等からの暴力防止と被害者の自立に向けた支援
取組の方向	3	被害者の安全確保のための体制整備
事業	45	被害者や子どもの安全確保
	46	情報管理の徹底
担当課	関係各課	

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
40		連携が進めば進むほど情報管理が難しくなるという面もある。今後どれだけ情報管理の徹底ができるかが重要になってくる。今後の課題としても認識されているので、ぜひ気を付けて取組を進めてもらいたい。	評価 A
関係各課	45 46	研修の回数や内容をブラッシュアップし、内容を強化して行ってほしい。	取組状況 A
			課題把握 A
			次年度目標 A
			A

通し番号	41
------	----

【令和4年度事業】

目標	IV	安心・安全な暮らしの実現
施策	2	配偶者等からの暴力防止と被害者の自立に向けた支援
取組の方向	4	自立のための支援体制の整備
事業	47 自立のための支援体制の整備	
担当課	関係各課	

「取組の方向」全体についての講評・提言		

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
41		情報共有や連携はよくできており評価できる。引き続き取組が進むことを期待する。	評価 A
関係各課	47	研修などで、暴力被害の当事者の話を聞く機会があるとよいのではないか。また、庁内外との連携の具体的事例についても研修等で取り扱うことも有効であると思われるので、検討していただきたい。	取組状況 A
			課題把握 A
			次年度目標 A

通し番号	42,43
------	-------

【令和4年度事業】

目標	IV	安心・安全な暮らしの実現
施策	2	配偶者等からの暴力防止と被害者の自立に向けた支援
取組の方向	5	関係機関との連携強化及び庁内体制の整備
事業	48	関係機関との連携強化
	49	庁内の相談・支援体制の整備と資質向上
担当課	関係各課	生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言

困難を抱えている方のニーズも多様化しており、引き続き関係各課において連携の強化に努めてもらいたい。
組織改編や人事異動もあるため、組織内での引継ぎや情報共有についても徹底してほしい。

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
42	関係各課 48 49	関係各課においてしっかりと連携が取れていることが分かる。	評価
		数値目標の「配偶者暴力対策庁内連絡会の開催数」について、適切な回数を考え直しても良いのではないかと。	A
		被害者に外部の機関を紹介することも必要なことである。重層的に対応し、支援を強化していただきたい。	取組状況
			A
			課題把握
		A	次年度目標
			A
43	生活文化課 49	相談事業の情報共有等しっかりと連携ができている。引き続き情報管理の徹底に関しても留意してほしい。	評価
		研修などの学習機会の確保は重要である。例えば暴力被害当事者の話を聞く機会があってもよいのではないかと。	A
			取組状況
			A
			課題把握
		A	次年度目標
			A

通し番号	44,45
------	-------

【令和4年度事業】

目標	IV	安心・安全な暮らしの実現
施策	3	女性や子どもに対するあらゆる暴力の予防と根絶
取組の方向	1	性暴力や児童虐待、ストーカー被害の根絶に向けた防止等の啓発
事業	50	メディア・リテラシーの育成
	51	暴力の未然防止のための啓発や情報提供
担当課	生活文化課	指導室

「取組の方向」全体についての講評・提言

暴力の未然防止のためには日頃の地道な取組が重要である。今後も取組を継続してもらいたい。こどもの内面理解は年々難しくなっており、世代間ギャップも拡大している。取組内容も毎年ブラッシュアップしていく必要がある。

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
44		さまざまな機会を通して取組が行われている。市立保育園の保育士向け講座の実施など、啓発活動がしっかり行われており評価できる。	評価 A
生活文化課	50 51	若年層向けであれば、若い世代の人たちに認知度の高い外部講師の活用などを検討してもよいのではないか。	取組状況 A
			課題把握 A
			次年度目標 A
			評価 A
			取組状況 A
45		児童・生徒が相談しやすい環境を整えてほしい。また、教員・生徒がともに理解を深められる研修や授業を継続して行ってほしい。	評価 A
指導室	50	「取組状況」の「児童・生徒が互いのよさを認め合う環境づくり」、今後の課題の「相談窓口の充実」について、もう少し具体的に記載してほしい。 「次年度の方向性」についても、教員に対する人権研修や情報リテラシーを身に付ける教育について具体的な説明がほしい。	取組状況 A
			課題把握 A
			次年度目標 B
			評価 A
			取組状況 A

通し番号	46,47
------	-------

【令和4年度事業】

目標	IV	安心・安全な暮らしの実現
施策	4	ハラスメント等の防止対策の推進
取組の方向	1	ハラスメント防止に向けた啓発や情報提供
事業	52	ハラスメント防止に向けた啓発や情報提供
担当課	産業政策課	生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言

ハラスメントの防止については、事業者にもっと強い関心をもってもらわないといけない。事業者が参加したいと思うようなPRや取組の工夫を期待したい。資料提供だけでは効果があまり期待できないため、他に何ができるのかを考えてほしい。

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
46	産業政策課 52	資料提供では、必要な人に届かないことが多い。もう少し踏み込んだ取組が必要である。また、取組に対して効果がどれだけあったかを検証する必要がある。 個別に企業を訪問するなど情報提供の機会の開拓についても考えてほしい。	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
		B	
		次年度目標	
		B	
47	生活文化課 52	東京労働相談情報センター等の外部の専門機関との共催は評価したい。 出前講座などの取組に事業者が応募したくなるような工夫が必要である。今後の利用につながることを期待している。	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
		B	
		次年度目標	
		B	

通し番号	48
------	----

【令和4年度事業】

目 標	IV	安心・安全な暮らしの実現
施 策	5	性を理解し、自他を尊重するための教育の実施
取組の方向	1	性別による役割分担意識解消のための啓発
事業	53	ジェンダー平等を推進するための啓発
担当課	生活文化課	

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
48		多くの取組が行われているが、中でも民間との連携は周知の面でも内容の面でも有効である。	評価 A
生活文化課	53	地域の多様性という意味でも、自由学園「多様性ゼミ」との共催講座の開催は評価できる。子どもから高齢者まで幅広い年代が参加できるとなおよい。	取組状況 A
			課題把握 A
			次年度目標 A

通し番号	49
------	----

【令和4年度事業】

目 標	IV	安心・安全な暮らしの実現
施 策	5	性を理解し、自他を尊重するための教育の実施
取組の方向	2	発達段階に応じた適切な性教育の実施
事業	再31 発達段階に応じた適切な性教育の推進(再掲)	
担当課	指導室	

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
49		学習指導要領に基づき適切に実施されている。	評価
指導室	再31	体育の男女共修、女子生徒にもスラックス型制服を認めるなどの時代に合わせた取組は評価したい。 「自他を尊重するための教育」、「自他を尊重する実体験」が具体的にどういふことか分かりにくい。	B
			取組状況
			A
			課題把握
			B
			次年度目標
			B

通し番号	50
------	----

【令和4年度事業】

目 標	IV	安心・安全な暮らしの実現
施 策	5	性を理解し、自他を尊重するための教育の実施
取組の方向	3	HIV／エイズや性感染症の予防、喫煙、薬物乱用の防止に関する教育の充実
事業	再32	HIV／エイズや性感染症の予防、喫煙、薬物乱用の防止に関する教育の充実(再掲)
担当課	指導室	

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
50		それぞれの項目に関し、万遍なく取組ができており評価できる。今後の授業改善や外部人材の活用に期待したい。ただ、外部人材の活用をどのように行っていくか分かりにくいところもあるため、もう少し具体的に記載してほしい。	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
			A
		次年度目標	
			B

通し番号	51-53
------	-------

【令和4年度事業】

目 標	IV	安心・安全な暮らしの実現	
施 策	6	困難を抱える女性等が安心して暮らせるための支援	
取組の方向	1	ひとり親家庭への支援	
事業	54	女性の人権を守る相談体制及び各種相談事業の充実	
	55	相談体制及び各種相談事業の充実	
担当課	生活文化課	児童青少年課	関係各課

「取組の方向」全体についての講評・提言

すべてにおいて課題が把握されており、取組もできている。個々が抱える悩みも多様化しているため、今後も丁寧に伴走して行ってほしい。また、職員の学習機会について、既存の研修に組み込むなどでもよいので、ぜひ研修の実施も検討してほしい。

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
51		女性の悩みごと相談における電話相談の継続は評価したい。さらにメールやSNSでの相談もできればなおよい。	評価 A
生活文化課	54	きめ細やかな相談対応ができている。引き続きニーズを把握しつつ、相談しやすい環境づくりを目指していただきたい。	取組状況 A
			課題把握 A
			次年度目標 A
52		子ども家庭支援センターでは、相談しやすい環境が整えられている。また、ひとり親に特化した支援ができている。今後、制度改正にも注視しながら取組を進めてほしい。	評価 A
児童青少年課	55	多胎ピアサポート事業等新しい取組がされている点と、母子・父子家庭へのアフターフォローを行っている点を評価したい。	取組状況 A
		子育て支援はテーマとしても全国的に関心が高まっているので、他市の好事例などを参考にしてアップデートして行ってほしい。	課題把握 A
			次年度目標 A

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
53		関係各課間の連携が取れており、評価したい。 「次年度の方向性・目標」に記載されているように、関係各課職員が参加できる研修については、ぜひ取組を進めてほしい。	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
			A
			次年度目標
		A	
関係各課	55		

通し番号	54-57
------	-------

【令和4年度事業】

目標	IV	安心・安全な暮らしの実現		
施策	6	困難を抱える女性等が安心して暮らせるための支援		
取組の方向	2	若年者、高齢者、障害者、外国人等、困難を抱える女性が安心して暮らせるための支援		
事業	56	相談体制及び各種相談事業の充実		
	57	自立した生活を送るための就労支援の推進		
	58	子ども、若者の自立に向けた力を高める取り組み		
	59	若年層を対象とした啓発		
	60	障害者に対する就労自立支援		
担当課		指導室 障害福祉課	生活文化課	福祉総務課

「取組の方向」全体についての講評・提言

課題を把握した上で取組がしっかりできており、評価できる。関連部署と連携しながら、引き続き取組を進めてほしい。
それぞれの課題解決のために何をしたらよいか、さらに一歩踏み込んだ取組を期待したい。

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
54		相談支援の充実が図られている。抱える悩みは多様であるため、周知を工夫し相談に繋がることを期待する。	評価 A
指導室	58	相談機関の連携や周知は重要なことであるが、子どもや女性が安心して暮らすには何が必要か、具体的に検討していけるとなお良い。	取組状況 A
			課題把握 A
			次年度目標 A
			評価 A
			取組状況 A
生活文化課	59	細かく課題を把握できている。自由学園「多様性ゼミ」との共催、つながるカフェの継続開催などは評価できる。 講座の企画に際しては、「今後の課題」にもあるように、参加しやすさについてさらに検討を進めてほしい。	課題把握 A
			次年度目標 A
			評価 A
			取組状況 A
			課題把握 A

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
56		<p>心理的側面からの就労阻害という問題に対して、具体的にどのように対策をしていくのかももう少し詳しく記載があると良い。</p> <p>福祉の総合窓口として関係部署と連携し、相談支援にあたっていることが分かる。就労支援の課題については対応を強化してほしい。</p>	評価
	56		A
福祉総務課	57		取組状況
			B
			課題把握
			A
			次年度目標
			A
57		<p>ニーズを把握し、しっかりと支援している点を高く評価したい。特に短時間雇用の取組は全国的にもかなり注目されている。就労先の開拓や雇用条件のマッチングは大変かもしれないが、ぜひ進めてほしい。</p>	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
			A
			次年度目標
			A
障害福祉課	60		

通し番号	58,59
------	-------

【令和4年度事業】

目標	IV	安心・安全な暮らしの実現
施策	7	男女共同参画の視点を生かした防災と地域づくり
取組の方向	1	防災分野における男女共同参画の啓発
事業	61	防災活動への男女共同参画の推進
担当課	防災防犯課	生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言

他市の好事例の聞き取りを直接行うことなども検討してみてもどうか。
避難所運営連絡会の開催を通じて、コロナ前から課題となっていた女性リーダーが活躍できる環境づくりが進むことを期待したい。

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
58		難しいと思うが、どのようにして女性の参画を増やすのか、もう少し具体的に示してほしい。	評価 A
防災防犯課	61	総合水防訓練や防災訓練時に工夫して男女共同参画の視点を取り入れた訓練が行えたことを評価したい。	取組状況 B
		引き続き、女性リーダーの活躍には何が必要か検討し、環境整備を図っていただきたい。	課題把握 A
			次年度目標 A
59		防災関連研修の受講や新任職員フォロー研修実施など、必要な取組がなされている。	評価 A
生活文化課	61	子どもや親子、シングルの方を対象にした講座について、ぜひ実施に向けて検討してほしい。	取組状況 B
		女性防災リーダーの育成には継続的な取組が必要である。年によって事業の実施回数にばらつきがあるが、今後も引き続き取組を期待したい。	課題把握 A
			次年度目標 A

通し番号	60
------	----

【令和4年度事業】

目 標	IV	安心・安全な暮らしの実現
施 策	7	男女共同参画の視点を生かした防災と地域づくり
取組の方向	2	防災分野における女性活躍の推進
事業	62 防災分野の意思決定への女性の参画拡大	
担当課	防災防犯課	

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
60		女性団員を導入している市からの情報収集を行っている点は評価したい。女性の参画を促すという点についてももう少し具体的に示してほしい。	評価 B
防災防犯課	62	防災会議や消防団員について、なぜ女性の参画が進まないのか、問題点の整理が必要ではないか。課題を明確にした上で、対策を検討してほしい。	取組状況 B
			課題把握 A
			次年度目標 B

通し番号	61-63
------	-------

【令和4年度事業】

目標	V 男女共同参画社会の実現に向けた社会基盤の整備		
施策	1 男女共同参画社会に対する理解促進		
取組の方向	1 男女共同参画の正しい理解の促進		
事業	63 啓発資料等の発行及び広報誌活用の充実		
	64 啓発資料等の発行及び広報誌活用の充実		
	65 男女共同参画に関する資料の提供		
	再53 ジェンダー平等を推進するための啓発(再掲)		
担当課	生活文化課	秘書広報課	図書館

「取組の方向」全体についての講評・提言

「取組の方向」に向かって、様々な取組を行っている点を高く評価したい。
 当該方向に関わる3課及び男女平等推進センター、図書館指定管理者が効果的に連携し、相乗効果を上げられる好事例となるような取組になることを期待したい。また、今後も連携した取組を継続して欲しい。
 「男女共同参画の正しい理解の促進」に向けて、具体的にどのような点を注意してきたのかについても知りたい。

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
生活文化課	63 64 再53	<p>61 広報紙の一面に「男女共同参画週間」の記事を掲載したことは良かった。また、男女共同参画情報の掲載数が増えていることについても評価できる。その他の実施事業についても高く評価したい。</p> <p>「ときめき」の市HPレビュー数が飛躍的に伸びていることは評価できるが、このことをどのように捉えるのが今後の課題ではないか。「ときめき」の発行部数が減少したため、今後は、このレビュー数を伸ばしていくことが明確な指標となるのではないか。</p> <p>ときめきの発行部数が大きく減らされた点が、残念である。</p>	評価 A
			取組状況 A
			課題把握 A
			次年度目標 A
秘書広報課	63	<p>62 先進自治体の取組を参考にしたり、アクセシビリティに力を入れるなど、担当課の積極的な姿勢や効果的な活動内容が報告書から読み取れ、評価できる。</p> <p>前年度と比較して、新しい取組等についても報告があるとより良いのではないか。また、今後は目標値を設定しても良いのではないか。</p>	評価 A
			取組状況 A
			課題把握 A
			次年度目標 A

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
63		<p>国際男性デー、国際女性デー等、記載されている様々な取組状況から、男女共同参画に対する指定管理者の積極的な姿勢が伺える。今後も民間のフットワークを存分に発揮されたい。</p> <p>数値の指標の設定や次年度の目標に具体性があると良い。</p>	評価
			B
			取組状況
			A
			課題把握
			A
		次年度目標	
		A	
図書館	65		

通し番号	64
------	----

【令和4年度事業】

目 標	V	男女共同参画社会の実現に向けた社会基盤の整備
施 策	2	男女共同参画に関する調査・研究、情報の収集・提供
取組の方向	1	男女共同参画に関する法令等や男女共同参画実現に向けた各種制度等の情報収集と提供
事業	66	関係法令や各種制度等の周知
担当課		生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
64		今の時代に求められる企画や情報をタイムリーに開催・発信している点や、課題や目標を明確にしている点を評価したい。	評価 A
生活文化課	66	「あらゆる機会」「あらゆる媒体」という言葉からも、担当課の積極的な姿勢が伺える。法令や制度が変わった際には、その背景に焦点を当てた周知に努められたい。 講座への参加人数等のデータも報告に加えられると良いのではないか。	取組状況 A
			課題把握 A
			次年度目標 A

通し番号	65-69
------	-------

【令和4年度事業】

目標	V	男女共同参画社会の実現に向けた社会基盤の整備		
施策	3	男女共同参画への意識を育む教育の実施		
取組の方向	1	学校、地域、家庭における男女共同参画意識を育む教育		
事業	67	男女混合名簿の使用		
	68	家庭と一体となった男女平等教育をすすめるための情報提供		
	69	教育及び保育等に携わる者への男女平等に関する啓発、研修の充実		
	70	保育実施上の配慮		
	71	学習機会や情報の提供		
	72	キャリア教育の充実		
	再59	若年層を対象とした啓発		
73	女性教員に対する管理職試験への受験奨励			
担当課		子育て支援課	児童青少年課	指導室
		生活文化課	生涯学習課	

「取組の方向」全体についての講評・提言

各課が同じ目的を持って、それぞれの分野で教育に取り組んでいる様子が理解できた。家庭における父親の言動・行動、母親の言動・行動がこどもの意識発達に影響を及ぼすため、男女共同参画意識と家庭生活の分野についても啓発教育が必要である。数値の指標を掲げられない事業が散見されるテーマであるが、「次年度の方向性・目標」をより具体的に記載しようとする中で、目指すべき指標が見えてくることもある。検討していただきたい。

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
子育て支援課	65	<p>「取組状況」の4点については、適切で大変有意義なものと評価する。特に保育士向けに実施を検討していた男女共同参画「出前講座」を活用したことが良かった。研修等を通して、職員間での男女平等に関する意識が高まっている点を評価する。保育の根幹である意識の醸成という共通認識が図られるよう、発展的な取組に期待したい。</p> <p>「大変好評」と報告があった男女共同参画「出前講座」について、どのような点が良かった等、具体的に記載してほしい。</p> <p>「次年度の方向性・目標」の「一人一人の可能性を伸ばし、自己実現を図っていくことが求められる」という文言が抽象的なため、もう少し具体的に記載してほしい。</p>	評価
			B
			取組状況
			A
			課題把握
児童青少年課	66	<p>担当課評価は「A」であるが、「取組状況」に多少不安を感じた。指定管理者に要請するにとどまらず、主管課である生活文化課や男女平等推進センターへの相談など、児童館及び学童保育所職員に対する具体的な提案をするなどして確実な取組に繋がるよう努められたい。</p> <p>児童館及び学童保育所での全職員会が無くなったということで、これからの取組をどうするのか、今後の工夫と全職員への理解の深め方について期待したい。</p> <p>学童保育所の職員向けに行った「ジェンダーに関するワークショップ」の内容についても記載してほしい。</p>	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
		B	
		次年度目標	
		B	
		A	

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
67	指導室 67 68 69 72 73	<p>明確な課題認識と目標を据えて取り組んでいる事業である。「今後の課題」に記載されている「教師が『市民』を育てるという視点から教育活動を捉え」ようとしていることに気概を感じる。期待したい。</p> <p>「取組状況」「今後の課題」「次年度の方向性・目標」から、それぞれに実践したこと、的確な考えが分かり、評価したい。</p>	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
			A
次年度目標			
A			
68	生活文化課 再59	<p>若年層を対象とした啓発や指導者の育成等、多方面にわたって取組を行ったことは評価できる。</p> <p>課題認識にあるとおり、アウトリーチは有効な手立てであると考え。市直営の施設にとどまらず、所管課を通じた指定管理者へのアプローチにも期待したい。</p> <p>発行部数が大幅に減少した「ときめき」をどう用いるかが今後の課題となるのではないか。</p>	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
			A
次年度目標			
A			
69	生涯学習課 71	<p>担当課評価は「C」となっているが、「性別に関係なく生活力を身に付けリーダーシップを育む機会を提供している」という取組を実施していることを高く評価する。今後を期待したい。</p> <p>女性も男性も年齢に関係なく、興味のある分野を体験してみたいという気持ちがあるのではないか。そのような気持ちに応えるべく、新たな体験の場を提供してほしい。</p> <p>説明されている青少年教育事業自体は素晴らしいと思うが、狙いが十分に浸透しているのか図るすがほしい。</p>	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
			B
次年度目標			
B			

通し番号	70
------	----

【令和4年度事業】

目標	VI	推進体制の整備・強化
施策	1	男女平等推進センターの機能強化
取組の方向	1	情報発信の充実(SNS等の活用、情報誌の充実)
事業	74	男女平等推進センター機能の充実
	75	学習機会の提供の充実
	76	男女共同参画に関する情報収集及び提供の充実
担当課		生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
70		アンケートフォームにより、読者の意見や感想を投稿できるようにしたのは面白い取組である。このような新しい取組によって、男女共同参画に興味を持って参加してくれる市民が増えるのではないかな。	評価 A
生活文化課	74	指標にある、男女平等推進センターの認知の受け止め方は難しい。他の指標は着実に伸びを示しており、担当が今後可能性を感じているとおり、既成概念に捉われない取組に期待したい。	取組状況 A
	75		課題把握 A
	76		次年度目標 A

通し番号	71
------	----

【令和4年度事業】

目標	VI	推進体制の整備・強化
施策	1	男女平等推進センターの機能強化
取組の方向	2	他機関との連携強化
事業	77 関係機関、各種団体との連携の推進及びネットワークづくりの促進	
担当課	生活文化課	

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
71		南中学校との連携、TOKYO創業ステーションTAMAとの連携等、高く評価したい。	評価
生活文化課	77	同種・同類の機関との連携強化自体は当然に必要であるが、今後、さらに枝葉を広げていくためにも、若い世代によって組織されている団体との連携に期待したい。 新たに取り組んだ事柄や開催した事柄、開拓した連携先等高く評価したい。課題・目標ともの確で、今後にも期待したい。	A
			取組状況
			A
			課題把握
			A
			次年度目標
			A

通し番号	72-74
------	-------

【令和4年度事業】

目標	VI 推進体制の整備・強化		
施策	2 庁内推進体制の強化		
取組の方向	1 男女共同参画視点を持った組織づくり		
事業	78 男女共同参画への理解促進に向けた職員研修の充実		
	再21 特定事業主行動計画の推進とポジティブ・アクションの推進(再掲)		
	79 男女の配置均等化の推進		
	再22 女性職員の能力活用に関する管理職研修の実施(再掲)		
	80 プロジェクトチーム等におけるポジティブ・アクションの推進		
担当課	職員課	生活文化課	企画調整課

「取組の方向」全体についての講評・提言

男性が作ってきた組織、体制、仕事のやり方等は、女性にとって違和感のある部分も多いのではないかと。女性が管理する立場になった時に、そういった違和感を調整していくことで女性が働きやすい職場が生まれるのではないかと。職員課と生活文化課が共催して各事業に取り組んできたことは画期的であり、内容も素晴らしい。一過性にならないために、研修やグループワーク、市長へのプレゼン、ニュースレターの発行がなされることを期待したい。一部に研修の共催といった取組が見受けられるが、それぞれがそれぞれの役割の範疇を越えない印象を受ける。「ときめき」69号のアンケート結果は大変有意義であり、これをどう受け止めるかが問われる。

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
72	職員課 78再21 79再22	取組内容も有意義で、ワーク・ライフ・バランスの観点も踏まえている。課題・目標の認識も高い。男女共同参画への理解促進に向けたさまざまな取組の継続は評価できる。 男女共同参画への理解の促進に向けた動きが見えてきた。男性職員の育児休業取得率も高く、具体的な成果につながっていることを評価する。 管理・監督職への女性の登用が他市と比べ著しく低い。真の理由は何であるのか、大局的な視点からの分析としかるべき提案がほしい。	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
B			
次年度目標			
A			
73	生活文化課 78再21 再22	男女共同参画研修、女性活躍推進研修、新任職員フォロー研修、市職員を対象としたアンケート等、担当課が課題と認識していることに沿った取組が行われており、積極的な活動を高く評価する。 取組内容、課題と目標に対する認識と問題意識が高く、今後とも自信を持って進めてほしい。	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
A			
次年度目標			
A			

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
74		各種会議体の委員男女比、うち公募委員の男女比を可視化したことは、当該事業を担当する課としてその役割を認識しているものとして評価できる。	評価 B
企画調整課	80	<p>「次年度の方向性・目標」に記載されている幅広く意見聴取を行う工夫として、多様な職層世代の職員をオブザーバーやプロジェクトチームの下部組織として配置することなどを検討する、という部分の考え方が良い。</p> <p>担当課の持つ「今後の課題」「次年度の方向性・目標」についての考え方はよく分かった。今後の工夫と取組に期待したい。</p>	取組状況 B
			課題把握 B
			次年度目標 B
			B

通し番号	75
------	----

【令和4年度事業】

目 標	VI	推進体制の整備・強化
施 策	2	庁内推進体制の強化
取組の方向	2	庁内推進協議会の充実
事業	81	男女共同参画推進協議会の充実
担当課	生活文化課	

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
75		担当課の認識する課題への対応は、目標VI・施策2・取組の方向1の「男女共同参画の視点を持った組織づくり」にかかっている。推進協議会での議論が期待される。	評価 B
生活文化課	81	推進協議会に課長級女性が加わり、4回会議を開催できたことを評価したい。今後の課題や目標についても期待したい。 庁内推進協議会メンバーを部長職、課長職、係長職まで広げ、年齢的にも立場的にも、幅広いメンバーで問題解決にあたる場を形成したら良いのではないか。	取組状況 B
			課題把握 B
			次年度目標 B

通し番号	76-78
------	-------

【令和4年度事業】

目標	VI 推進体制の整備・強化
施策	2 庁内推進体制の強化
取組の方向	3 庁内実施主体間の連携強化
事業	82 男女共同参画推進のための総合調整機能の強化
	83 ジェンダー予算に関する調査研究
担当課	企画調整課 財政課 生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言

各施策・事業を実効性のあるものをするために、各課が連携やヒアリングなどをよく行っていることがわかった。3課の連携の結果として、具体的なセミナーや研修会の開催につながっていると思われるが、庁内実施主体間の連携を評価するにあたっては、どのような連携が成果につながっているのか、という部分の報告がほしい。企画調整課と財政課は、ある程度自立した意思と意識を持って役割を果たそうとしていることがうかがえる。今後、生活文化課は、なお自立に及ばない部分にいかに関わりかけるかが、この取組の方向の達成度に関わるのではないかと。

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
76 企画調整課	82	SDGsの目標の全てにジェンダー平等が関係しており、「東久留米デジタル田園都市国家構想総合戦略」、「東久留米市SDGs推進方針」の推進にあたっても意識すべきものとして認識されている点を評価する。 取り組んだ事柄は、実践的で評価したい。担当課評価は「B」となっているが、「今後の課題」「次年度の方向性・目標」の書き方に積極性を感じることができ、評価できる。今後の取組に大いに期待したい。	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
B			
次年度目標			
A			
77 財政課	83	ジェンダー視点が形として表れる予算編成段階において、その調整を図る担当課が、こうした意識を持つことは大変有意義であり、職員には誇りを持っていただきたい。 ジェンダー視点を常に持ち、実行していることを評価したい。今後もヒアリング等を通じ、さらにジェンダーの視点を深めていかれることを期待したい。 報告書では、消防団詰所のトイレの改修の例が説明されているが、このような男女平等を推進する方向で行われた工事等におけるジェンダー予算の内訳、もしくは総額を知りたい。	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
B			
次年度目標			
B			

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
78		<p>「取組状況」に書かれていることは、他の事業で説明されていることである。ここでは、取り組みの方向に向けて、生活文化課が具体的にどのような機能を発揮したのかを記載してもらいたい。</p> <p>担当課が評価理由に記しているように、新たな取組を行うことができた。さらに連携を強化していきたいという目標も素晴らしい。</p> <p>多くのセミナーや研修の機会を設けることができているのは、庁内実施主体間の連携がとられている結果ではないか。この点を今後の評価指標に設定されると良いのではないか。</p>	評価
			B
生活文化課	82 83		取組状況
			A
			課題把握
			B
		次年度目標	
		B	

通し番号	79
------	----

【令和4年度事業】

目 標	VI 推進体制の整備・強化
施 策	2 庁内推進体制の強化
取組の方向	4 市民参加による推進体制の充実
事業	84 男女平等推進市民会議の充実
担当課	生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
79		<p>「今後の課題」「次年度の方向性・目標」に書かれた文面を見れば、その間の市政意欲がよくわかる。次期プランの進行管理においても、時に会議を振り返り、それに向けた一歩を着実に進めてもらいたい。</p> <p>市民会議と生活文化課で相互理解を深めていき、市の男女共同参画を進めていけると良い。</p> <p>市民会議と担当課の意見交換や表彰が、各課の取組に好影響を与えているとのことだが、このような各課の取組に好影響を与える新たな方法について検討すると良いのではないか。</p>	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
		A	
		次年度目標	
		A	

通し番号	80
------	----

【令和4年度事業】

目 標	VI 推進体制の整備・強化
施 策	3 関係機関・団体との連携強化
取組の方向	1 国、都、企業、学校、地域の団体との連携強化
事業	85 国、都、企業、学校、地域の団体との連携強化
担当課	生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
80		既出の取組を記載せざるを得ない事業であるものの、そもそも何のための事業であって、担当課として何を生み出したいと思っているのかを自認していることが大切ではないか。	評価 A
生活文化課	85	新たに取り組んだ事柄や開催した事柄、開拓した連携先等高く評価したい。課題・目標ともの確で、今後にも期待したい。 国、都、企業、学校、地域の団体との連携活動を実施しており、成果につなげていることを評価する。政策推進の中で、特に弱い部分、影響を与えたい部分に対して、有効な連携先を見つけてほしい。	取組状況 A
			課題把握 A
			次年度目標 A

通し番号	81
------	----

【令和4年度事業】

目標	VI	推進体制の整備・強化
施策	4	男女平等推進プランの実効性の確保
取組の方向	1	確実なPDCAサイクルの実施
事業	86	進捗状況の年次報告の実施
担当課	生活文化課	

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
81		ここまでで、ある程度確立しているとも見えるPDCAサイクルについて、「今後の課題」に記載がある意識を持って見直そうとする姿勢は評価したい。	評価 A
生活文化課	86	PDCAを回して、「確実に良くなっている」「前進している」ということを明確にするためにも、数値で評価し、確認できる指標との関係を常に意識してほしい。今行っている活動が、具体的な成果を生むという確証がほしい。 平成29年度の市民会議の答申をもとに、いくつか改善できたことは有意義であった。「今後の課題」や「次年度の方向性・目標」をしっかりと行っていけたらと思う。	取組状況 A
			課題把握 A
			次年度目標 A

通し番号	82
------	----

【令和4年度事業】

目標	VI	推進体制の整備・強化
施策	4	男女平等推進プランの実効性の確保
取組の方向	2	男女別等統計の充実
事業	87	プランの実効性の向上
担当課		生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号	講評・提言	年度評価
担当課		項目評価
82	ジェンダー統計の活用を認識し合い、今後の男女平等推進プランに活かしていくという方向性は大変有意義なことだと考えるため、期待したい。 統計結果をいかに印象的に示していくか、どういうメッセージを与えて何を考えさせたいのかをより強調するなど、引き続き積極的に取り組んでもらいたい。 市民の意識についても、近隣5市で比較できると良いのではないかと。	評価
		A
		取組状況
		A
		課題把握
生活文化課	87	A
		次年度目標
		A

通し番号	83
------	----

【令和4年度事業】

目標	VI	推進体制の整備・強化
施策	4	男女平等推進プランの実効性の確保
取組の方向	3	男女共同参画推進条例(仮称)の研究
事業	88	男女共同参画推進条例(仮称)の研究
担当課		生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
83		男女共同参画推進条例がある市の現状と、条例で定められていること等について調査し、当市でも条例の制定に向かって動くべきか、決める時期に来ているのではないか。	評価 B
生活文化課	88	担当課が記載した「今後の課題」にある通り、条例の制定ありきではなく、条例を制定することで、プランの進展が大きく見込まれることがあるのか、先進的な取組が他にもないか、などの視点からも研究してほしい。今後に期待したい。	取組状況 B
			課題把握 B
			次年度目標 B